

公 告

第101回日本医療機器学会大会

演題募集について

大会テーマ：「医療機器学サイコウー再考・再興・最高ー 医療機器の多様性拡大に向けた課題と展望」



このたび、第101回日本医療機器学会大会並びに併設展示会「メディカルショー・ジャパン&ビジネスエキスポ2026」を千葉・幕張メッセにて、2026年6月4日から6日までの3日間開催いたします。

大会長として、皆様をお迎えできることを大変光栄に存じますとともに、医療機器分野の発展にご尽力されている関係者の皆様に、心より敬意と感謝を申し上げます。

さて、本大会のテーマは、「医療機器学サイコウー再考・再興・最高ー」であります。

私はこの「サイコウ」を思考するにあたり、今一度本学会の原点である創立趣旨に立ち返りました。本学会誌「醫科器械學雜誌第1巻第1号（大正12年発行）」の巻頭において、当時の医学博士田代義徳先生が本学会の有り様を以下のように論説されています。

“自ら一種の階級様なるものを作りて、他方面の交通を缺く（かく）を以て、その専門とする”医学者と、“売込商人として努めて自ら低くするの風を装うも、その製作者たる職工に対するときは、態度豹変一廉（ひとかど）の資本家氣質を発揮する”販売者に加えて、“尋常一様の筋肉労働者と看做（みな）されて最も薄き待遇に甘んぜざる”製作者、この三者が“相携へて医学上の器械製作の改良進歩を圖（はか）らんとするは～（中略）～相互の人格平等なるを認識して、唯（ただ）その異なるは従事する方面のみなるを覚りて、相依り相扶けて器械の進歩改良には、三者同一の位置に立ちて努力せられんことを希う”と。

この時代、医学者、今でいうところのアカデミア、医療機器商家、職工の三者が一座となって医療機器の進歩改良に手を携えることは極めて希だったのではないのでしょうか。それほどまでに進歩改良への渴望と情熱があった証左だと想像します。また、医療機器学の未来を拓くのに必要なのは型でなく思想だと感じた次第です。

改めて、本大会テーマ「医療機器学サイコウー再考・再興・最高ー」ですが、「再考」とは、医療機器の倫理的配慮、実用化、改良改善、安全性確保といった根本的価値に立ち返り、産学連携のもと、最新の医療技術を患者に提供する使命感と社会貢献のマインドを見つめなおす契機とするものです。「再興」には、学術委員会による医療機器の製造・販売・使用における患者安全と医療の質向上を目的とした活動をもとに、より高次の付加価値を生み出し還元できるような質の高い交流の場となるよう再構成していきたいという期待を込めています。「最高」は、最新の医療技術や研究動向の学び、研究者との交流、ご自身の研究発表のフィードバックの機会、そしてモチベーションを向上し続けることで、文字通り「医療機器学サイコウー！」と叫ぶ理想を象徴しています。

我々は、患者を中心に、医師・看護師・臨床工学士・滅菌技士をはじめとする医療従事者と、医療機器の供給元である医療機器販売者、業務受託サービスの医業委託者、医療機器製造者、医療機

器の研究開発に携わる理工学研究者とが、臨床の現場課題をベースに思考と創意工夫を重ねることで医療の改良進歩を図ってきました。ここでいう改良進歩とは、社会実装にほかなりません。

しかし現実には社会実装のハードルは極めて高い。我々は good-to-have は作れますが、社会実装に至るためにはこれでは足りず、揉んで、揉んで、叩いて、叩いてを繰り返し、must-have の域にまで昇華させなければならない。これが学会創立当初の意志であり本分だったのではないのでしょうか。本学会から医療機器開発のネットワークを拡げ、その社会実装を促進するエコシステムとして機能することこそが、副題にあります医療機器の多様性拡大に向けた課題を克服し、次の展望へと向かう筋道になると考えるのです。

つきましては、本大会では、新技術の開発はもとより、臨床課題の研究、医療機器保守・管理、薬事・法制化、教育・人材育成など、多岐にわたる領域からの演題を広く募集し、ご発表を歓迎いたします。

本大会が、学会会員や参加者一人ひとりの知識と情熱の交差点となり、医療機器学のさらなる飛躍に寄与する場となりますよう祈念し、皆様のご参加とご支援に、あらためて深く感謝申し上げますとともに、幕張の地にて、多くの皆様とお目にかかれますことを、心より楽しみにしております。

第101回日本医療機器学会大会
大会長 本田 宏志
(株)ニチオン 代表取締役社長)

1. 会 場：・幕張メッセ・国際会議場

〒261-8550 千葉県千葉市美浜区中瀬 2-1

TEL：043-296-0515 <https://www.m-messe.co.jp/>

2. 会 期：2026 年 6 月 4 日（木）～6 月 6 日（土）

・学 術 集 会 6 月 5 日（金）～6 月 6 日（土）

・メディカルショー・ジャパン&ビジネスエキスポ 2026
6 月 4 日（木）～6 月 6 日（土）

3. 募集演題の区別

募集する演題の種別は、通常の「一般演題」、企業新製品やソリューションなどを紹介する「トピックス演題」といたします。奮ってご応募ください。

1) 「一般演題」の申込み要件

「一般演題」は、現地での会場参加による口述形式で発表していただきます。なお、発表には、発表者または共同発表者のうち、1 名が本学会の正会員であることが必要です（演題申込時に非会員の方は、演題採択後に入会手続きをしてください）。申し込まれた演題は、プログラム委員会で抄録内容を審査した結果、演題種別を変更させていただく場合や不採択とする場合がありますのでご了解ください。

2) 「トピックス演題」の申込み要件

「トピックス演題」は、現地での会場参加による口述形式で発表していただきます。発表内容は原則として企業における新製品開発や製品改良、さらには具体的なソリューションを発表するものとします。なお、発表には、発表者の所属する企業が本学会の企業会員であるか、併設展示会「メディカルショー・ジャパン&ビジネスエキスポ 2026」の出展企業であることが必要です。トピックス演題に申し込まれますと演題名に商品名の標記が可になります。文献的考察やエビデンスの提示は不要です。

ただし、申し込まれた演題は、プログラム委員会で抄録内容を審査した結果、単に企業名の宣伝やイメージアップ活動、新製品紹介を目的としたものと判断された場合は不採用となりますのでご了承ください。

4. 発表形式

日本語による口述発表とします。

「一般演題」、「トピックス演題」とともに発表時間は質疑応答を含め 1 演題 10 分程度の予定です（ただし、応募演題数により発表時間が変更になる場合があります）。

各会場にはパソコン用プロジェクタ 1 台を用意しますので、各自パソコンをご持参して頂くか、USB メモリをご持参して頂き、学会で用意するパソコンを使用するかいずれかになります（詳細要領は学会誌 2026 年 4 月号に掲載します）。

5. 申込方法（一般演題およびトピックス演題）

1) 学術集会演題抄録登録システム (<https://endai.umin.ac.jp/reg/input>).

cgi?site_id=A00013-00030-012) か、学会ホームページ内の第 101 回学術大会ページ (<https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/jsmi101>) からお申込ください。

- 2) 申込受付期間: 2025 年 9 月 20 日 (土) ~ 2026 年 1 月 20 日 (火) とします。期間内であれば、抄録内容の追加・修正は可能です。
- 3) 演題の採否、発表形式ならびに講演時間などについては、大会長にご一任願います。
- 4) 登録ページの指示にしたがって、演題の所定の内容 (以下のもの) を登録してください。

(1) 演題分類番号 (7 項の演題分類から希望分類を一つ選んでください)。

(2) 発表形式 (口述発表)

(3) 演題名 (40 文字以内)。一般演題の演題名として商品名の記載は不可 (トピックス演題の場合は可) とします。

(4) 発表者と共同発表者の氏名および所属施設名。

(5) 抄録本文は、日本語 800 字以内にまとめてください。図表・写真は使用できません。

(6) 記載上の注意事項: 一般演題の場合、抄録演題名に商品名を記載することはできません。本文中で商品名を記載する場合、商標登録されている場合は後ろに必ず上付きで®マークをつけてください。

(7) 確実な連絡先 (住所、氏名・ふりがな、電話 / FAX 番号、e-mail アドレス) を記載してください。

(8) 発表に関する利益相反 (COI) を申告してください (6 項参照)。

(9) 演題登録時には登録者本人に任意のパスワード (半角英数文字 6 ~ 8 文字以内) を決めていただき、演題登録が終了すると同時に登録番号が発行されます。パスワードと登録番号は抄録内容の確認や修正に必要となりますので、必ず控えを取るか、その画面をプリントアウトして保存してください。

なお、パスワードと登録番号の記録および機密保持は、登録者ご本人に依存します。セキュリティ確保のため、パスワードと登録番号に関するお問合せには一切応じられませんので、ご了承ください。

(10) 学会終了後に、演題発表スライドの PDF 公開 (本学会・会員専用 HP) の公開可否 (公開可、公開不可、スライド修正後公開可のいずれかを選択)。

6. 日本医療機器学会大会での発表に関する利益相反の申告について

発表者全員について発表の内容に関連する団体との関係で、抄録登録日を基準として過去 2 年間に於いて現在までの、以下の 1) ~ 10) の利益相反状態の有無をお答えください。

- 1) 1 つの企業、法人組織や営利を目的とした団体から、年間 100 万円以上の報酬を受け取っている場合。
- 2) 1 つの企業の株式から、年間 100 万円以上の利益を取得した場合、あるい

は当該全株式の5%以上を保有している場合。

- 3) 企業、法人組織や団体から、特許権使用料として、1つの権利使用料が年間100万円以上の場合。
- 4) 企業、法人組織や団体から、日当（講演料など）として、1つの企業、法人組織や団体から年間50万円以上を受け取っている場合。
- 5) 企業、法人組織や団体から、原稿料（執筆料）として、1つの企業、法人組織や団体から年間50万円以上を受け取っている場合。
- 6) 企業、法人組織や団体から、研究費（受託研究費、共同研究費など）として支払われた金額のうち、1つの企業、法人組織や団体からの総額が年間200万円以上の場合。
- 7) 企業、法人組織や団体から、奨学（奨励）寄付金として支払われた金額のうち、1つの企業、法人組織や団体から申告者個人または申告者が所属する部局（講座・分野）あるいは研究室の代表者に対する総額が年間200万円以上の場合。
- 8) 企業、法人組織や団体が提供する寄付講座に申告者らが所属している場合。
- 9) 1つの企業、法人組織や団体から受けたその他の報酬（旅行、贈答品など）が、総額年間5万円以上の場合。
- 10) 過去5年以内に企業・営利を目的とする団体から研究機関および医療機関へ転職し、研究テーマが継続している場合。

該当する場合は、COI自己申告書（様式3）の送付が必要です。日本医療機器学会HPより書式をダウンロードの上、第101回日本医療機器学会大会事務局まで郵送にてお送りください。

また、演題発表をされる場合は、発表スライドの最初（または、演題・発表者などを紹介するスライドの次）にCOI状態の有無を開示する必要があります。

7. 演題分類

- | | | |
|---------------------------|---------------|----------------|
| 1) 医療画像装置 | 2) 検査機器 | 3) 人工呼吸器 |
| 4) 血液浄化装置 | 5) 心肺補助装置 | 6) 人工臓器 |
| 7) 再生医療（バイオエンジニアリング） | | 8) インプラント |
| 9) 医療材料 | 10) 福祉・リハビリ機器 | 11) 在宅医療・介護 |
| 12) 病院設備（ファシリティマネジメント） | | |
| 13) 医療機器 QMS（保守・管理） | | 14) 電磁環境と電波管理 |
| 15) 臨床工学（クリニカルエンジニアリング） | | |
| 16) 医療 DX（IT・ICT・IoT・RPA） | | |
| 17) トレーサビリティ（UDI） | | 18) 電子カルテシステム |
| 19) 手術室・ICU | 20) 洗浄・消毒・滅菌 | 21) 滅菌保証ガイドライン |
| 22) 施設評価ツール | 23) 感染防止 | |
| 24) 医療ロボティクス・自動化 | | |
| 25) 医療機器の開発／改良（医工連携） | | |

- | | |
|------------------------------|---------------|
| 26) ロジスティクス・SPD システム | 27) アウトソーシング |
| 28) 医療経営 | 29) 薬事・法制化 |
| 30) 医療機器・FMS 安全管理 | |
| 31) 体制整備タスクシフト・シェア | |
| 32) 医療機器 BCP (災害・防災) | |
| 33) プログラム医療機器 (生成 AI) | |
| 34) サイバーセキュリティ | |
| 35) 遠隔医療 (医療機器遠隔モニタリング) | |
| 36) 看護業務支援 | 37) 医療教育 |
| | 38) XR 技術 |
| 39) 消化器内視鏡関連 | 40) 人材育成・組織体制 |
| 41) 周術期医療機器 | 42) 臨床現場の課題解決 |
| 43) ダイバーシティ & インクルージョン (その他) | |

8. 「若手奨励賞」候補のノミネートと選考方法

発表時に 40 歳以下 (演題申込時に申込フォームから自己申告) の本学会正会員が発表した「一般演題」の中から、特にその発想や発展性の高い演題を「若手奨励賞」の候補演題としてあらかじめ学会ホームページなどで公表します。

「若手奨励賞」の候補演題は、当日の演題発表を含め、プログラム委員会および座長によってさらに審査し、学会最終日に受賞者を表彰します。

9. 「優秀発表賞」候補のノミネートと選考方法

本学会正会員が発表した「一般演題」の中から、特に学術性・新規性の高い演題を「優秀発表賞」の候補演題としてあらかじめ学会ホームページなどで公表します。

「優秀発表賞」の候補演題は、当日の演題発表を含め、プログラム委員会および座長によってさらに審査し、学会最終日に受賞者を表彰します。

10. その他

- 1) 会員各位および関係各位から多くの演題の応募を希望します。
- 2) 本学会認定の第 1 種滅菌技師、第 2 種滅菌技士による学会発表については、大会参加者に 8 単位のほか、①発表者：15 単位、②共同発表者：10 単位、③講師として講演：15 単位が取得できます。
- 3) 本学会認定の MDIC による学会発表については、大会参加者に 15 点のほか、①発表者：15 点、②共同発表者：10 点、③講師として講演：20 点が取得できます。
- 4) 日本生体医工学会と合同認定の臨床 ME 専門認定士による学会発表については、大会参加者に 15 点のほか、①発表者：15 点、②共同発表者：10 点、③講師として講演：20 点が取得できます。
- 5) 代議員はぜひ 1 題は応募されるようお願いします (共同発表でも結構です)。
- 6) 大会抄録集 (学会誌 2026 年 4 月号) に掲載されたすべての記事の著作権および版権は日本医療機器学会に帰属します。ただし、申請により引用等を認めることがあります。